

鶏肉の需給予測について

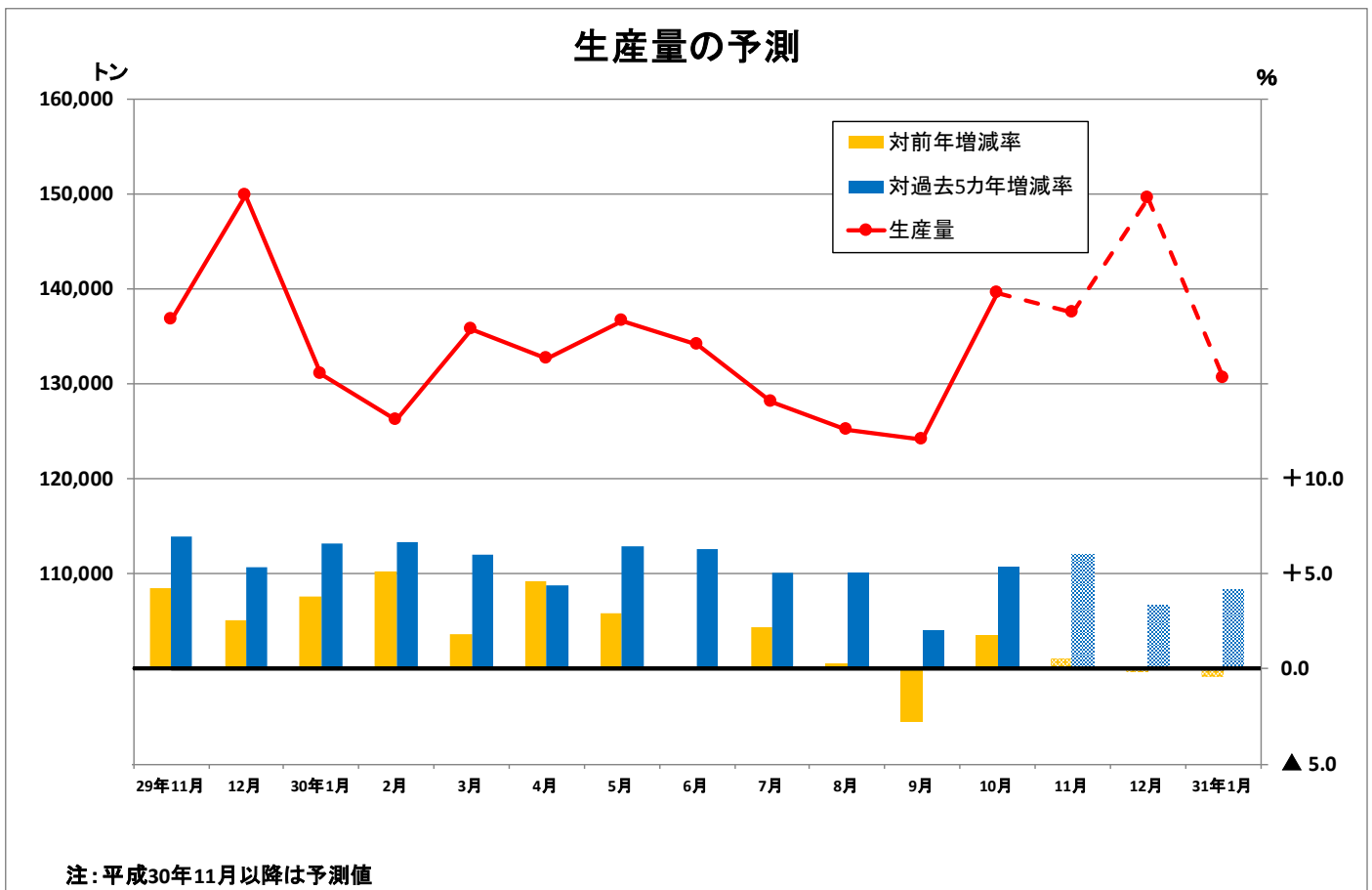
1 生産量

- 生産量は、鶏肉生産量の約9割を占めるブロイラーの生産動向を反映し、12月は前年同月並み、1月は前年同月をわずかに下回ると予測する。
- 3カ月平均（11～1月）では、前年同期並みと予測する。

(千トン)

	生産量
平成30年11月(見込み)	137.5 (100.5%)
12月(予測)	149.6 (99.8%)
平成31年1月(予測)	130.6 (99.6%)
11～1月平均	139.2 (100.0%)

注：()は前年同期比、以下同じ。

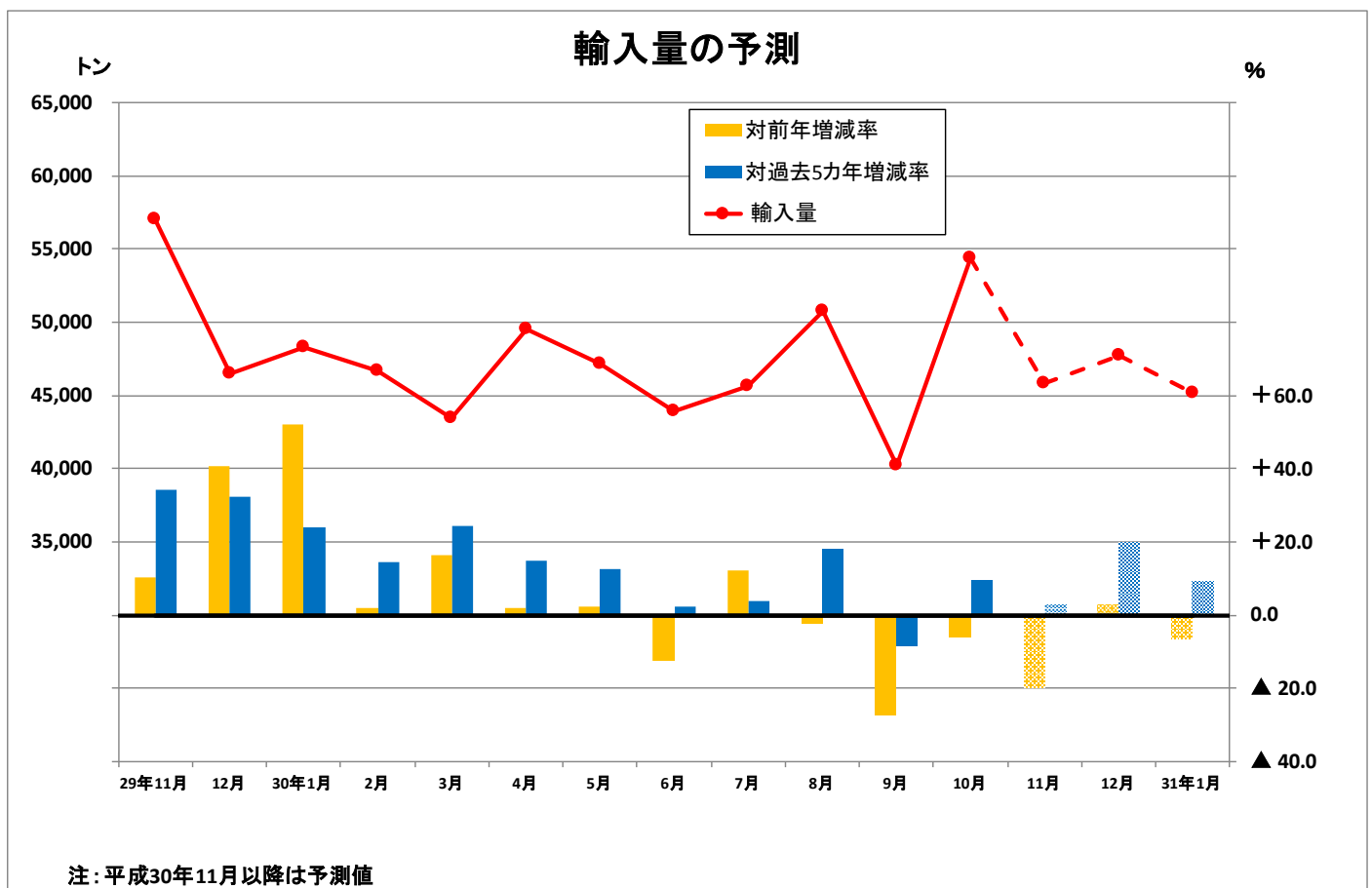


2 輸入量

- 輸入量は、12月は11月の通関予定分の一部が繰り越されたことから前年同月をわずかに上回り、1月は前年が多かった影響もあり、前年同月をかなりの程度下回ると予測する。
- 3カ月平均（11～1月）では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

(千トン)

	輸入量
平成30年11月(見込み)	45.8 (80.2%)
12月(予測)	47.7 (102.6%)
平成31年1月(予測)	45.2 (93.6%)
11～1月平均	46.2 (91.3%)

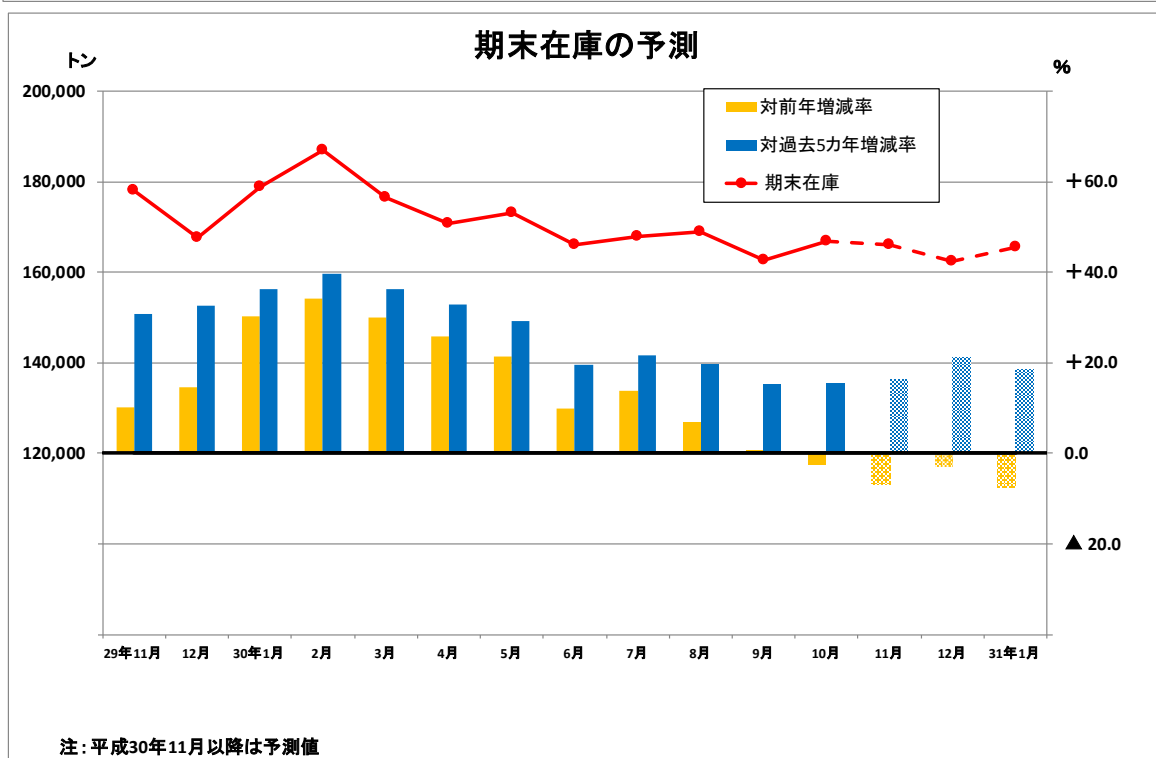
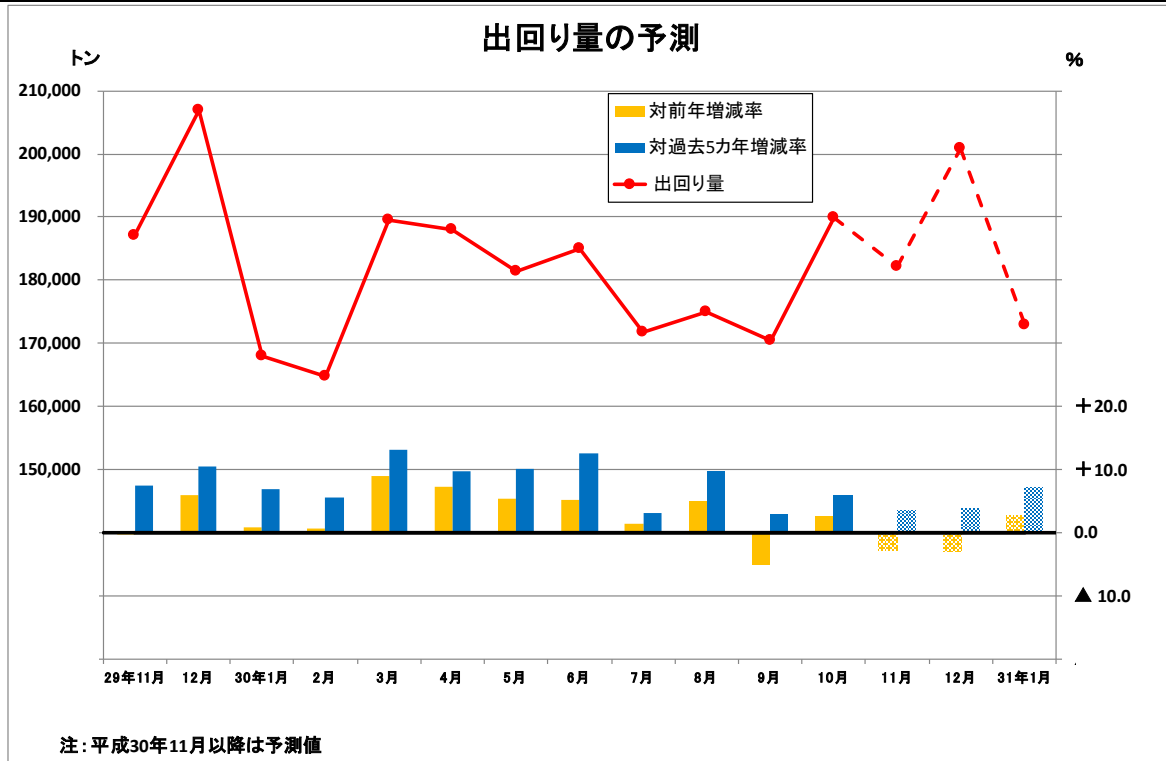


3 出回り量・期末在庫

- 出回り量は、過去の月別出回り量の実績をもとに推計した結果、12月は前年同月をわずかに下回り、1月は前年同月をわずかに上回ると予測する。
- 期末在庫は、12月はわずかに、1月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。

(千トン)

	出回り量	期末在庫
平成30年 11月 (見込み)	183.9 (98.4%)	166.2 (93.2%)
12月 (予測)	200.9 (97.1%)	162.6 (97.0%)
平成31年 1月 (予測)	172.8 (102.8%)	165.5 (92.5%)



<予測手法>

- 生産量は、ブロイラー、成鶏、地鶏について、最近の生産量の傾向、過去の月別生産量の実績、え付けひな羽数を考慮して予測。
- 輸入量は、日本食肉輸出入協会の実施している輸入動向検討委員会による輸入数量見込み。
- 出回り量は、過去の月別出回り量の実績をもとに ARIMA モデル（計量経済学に基づく手法）を用いて予測。
- 推定期末在庫は、機構の実施している食肉等保管状況調査の実績をもとに、生産量および輸入量を加え、出回り量を控除して算出。

お問合せ先

(独) 農畜産業振興機構 畜産需給部
需給業務課 後藤、岩井

TEL 03-3583-9531 FAX 03-3587-0768